



学校だより

令和5年11月

— 第8号 —

学習発表、北部っ子フェスありがとうございました

岩田 理恵子

11月18日（土）は木枯らしが吹く寒い日となりましたが、たくさんの方々に子供たちの発表を見守っていただきました。ありがとうございました。また、育誠会・真珠の会の皆様の企画で北部っ子フェスを再開することができ、子供たちは親子で、また友達と一緒に、校内に隠されたキャンディーを探す楽しいひとときを過ごしました。結果は9個だけが見付からず、隠した育誠会・真珠の会チームの勝ちとなりました。改めて、入念な準備、当日のご協力に感謝いたします。

発表前、各学級では限られた時間の中で、発達の段階に応じて、発表の内容を話し合ったり、練り上げたりしてきました。相手に「伝える」にはどうしたらよいか、休み時間も返上して準備する姿、タブレットで撮影したものを見直しながら自分たちで改善していく姿は、とても楽しそうで頼もしかったです。力を合わせて真剣に考え試行錯誤する姿をもっともっとたくさん見ることができるよう、これからも努力していきたいと思います。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

〈学年発表〉



〈北部っ子フェス〉



【5年生 宿泊学習】

10月24日、朝、澄み渡った青空の中、国立立山青少年自然の家へ向けて出発しました。午前中は、「森の遊び場作り」に取り組みました。重い丸太を運んだり、木と木を合わせてロープで縛ったりと協力しながら作業を進めました。みんなで楽しい遊び場を作ることができました。二日目の「焼き板・色付け体験」では、板に焼き色を付けた後、その板に好きな言葉や絵をかきました。一段と友情を深めることができた二日間でした。



【4年生 校外学習「能作・高岡方面」】

10月30日に、社会科の学習で、高岡市へ行きました。能作で工場見学をした後、箸置きづくりに挑戦しました。なかなかできない体験に子供たちは満足そうでした。次に、高岡大仏を見学しました。子供たちは、その大きさに驚いていました。その後、バスの中から金屋町の様子や鳳凰像を見ながら、おとぎの森公園へ向かいました。最後に、大型遊具や5人乗りブランコで思い切り遊びました。伝統文化に触れ、充実した一日になりました。



立山北部小学校ホームページも随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください。

<https://tateyamahokubu-e.edumap.jp>



学校をめぐる状況②「学校の働き方改革」

今、社会全体で働き方改革が進められていますが、特に学校では待ったなしの状況だと言われています。それは、学校が「子供たちの未来に直結する場所」だからです。

子供たちへの影響はいろいろありますが、中でも深刻なのは、**教員のなり手不足**です。富山県でも、採用試験の倍率は低下し、病気や出産などで休む先生の代員も不足しています。校種別の教員免許がなければ仕事ができないからです。先生になろうとする人がいなければ、近い将来、学校そのものを維持できなくなります。

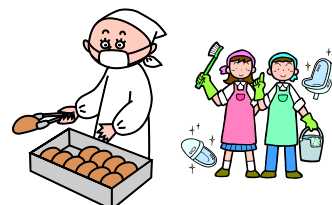
また、今の学校には、昔とは異なる多方面の教育が求められており、**教員にしかできない仕事に全力投球できる環境を整えなければなりません**。本校も含め多くの小学校では、朝は子供たちが登校する前の午前7時すぎから準備を始め、全員が退勤するのは午後7時以降。無理をして健康に不安を抱える先生も少なくありません。

様々な面で無理が生じている現在の学校で担ってきた業務については、2019年に次のように分類、公表されています。

《基本的には学校以外が担うべき業務》 《必ずしも教師が担う必要のない業務》

- ①登下校に関する対応
- ②放課後(夜間・土日)の見回り
- ③学校集金の徴収・管理
- ④地域ボランティアとの連絡調整

- ⑤調査・統計への回答(他職員など)
- ⑥休み時間対応(地域ボランティアなど)
- ⑦校内清掃(地域ボランティアなど)
- ⑧部活動(部活動指導員など)



本校でも既に一部、実現しているものもあります。これからは、地域全体で子供によりよい教育環境を実現するため、それぞれできることを考え持続可能な形で連携・分担することが、全国的にますます重要になっていきます。

次回は、その実現のために、立山町でもいよいよ来年度から導入されることになる「新しい制度」についてお伝えします。